

2019

平成31年

1.28

所管 連合自治部

発行責任者 梶原宜教

昭和48年初版

第78号

43自治会  
8,611世帯

題字揮毫 篠田昭前新潟市長

# 六道



新潟市西区長 笠原明夢

## 愛着を育み、魅力ある 坂井輪を目指して

新年おめでとうございます。  
坂井輪中学校区の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
皆様には、日頃より西区政に温かいご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。  
坂井輪中学校区まちづくり協議

皆様による支え合い・助け合いに力をいれていただいていることに、お礼申し上げます。  
また、昨年度は「支え合いのしくみづくり」に、モデル地区を除いて、市内で初めて取り組んでいただきましたほか、今年度より森の巣箱を会場に「子ども食堂」を開設いただき、子どもの居場所づくりや食育にも尽力されていることに重ねて感謝申し上げます。  
本年も西区役所では、地域の皆様のご意見を大切にしながら、誰もが安心して暮らしていただけるよう「支え合いのしくみづくり」の構築や健康寿命の延伸、人口減少対策などを皆様と共に進めてまいります。  
これまでも増して、地域への愛着を深め、魅力的で自慢のできる西区に向けて、西区職員一丸となつて、まちづくりを進めてまいりますので、皆様方からもご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。  
結びに、坂井輪中学校区まちづくり協議会様の益々のご発展と、皆様にとって本年が幸多い素晴らしい一年となりますことを心からご祈念申し上げます。



坂井輪中学校区まちづくり協議会  
会長(連合自治部長) 梶原宜教

## 年頭のご挨拶 と独り言

新年明けましておめでとうござい  
ます。  
坂井輪中学校区内自治会の皆様には、お健やかに新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。  
さて、今年「平成」の最後の

年。一方で新しい時代の幕開けの年となり、昭和の世代に育った私も、改めて昭和が遠くになった実感をかみしめているところですが、一方で、新時代に向かって地域課題が、さらに複雑・多様化してきています。「安心安全な地域」「い

ごという時の防災力」そして「地域包括支援システムの中で、地域住民が互いに支えあう仕組みづくり」が求められ、その課題解決には昭和世代である私共の地域マンパワーがどうしても必要となつていくところなんです。  
私共の連合自治部では、自治会の活性化を図るための自治会長等研修や、自治会役員、民生委員、友愛訪問員の三者合同による研修、そして合同防災訓練など、地域自治会が直面する課題について、大

きな輪の中で情報の交換や改善に向けた取り組みを行って参りました。  
ただ全自治会のうち研修会等に参加いただける自治会が最近限定されてきており、まったく参加いただけない自治会も見られます。  
自治会は地域活動の基本で、名前のとおり「自ら治むる(活動を担い手不足、活動の衰退が目に見えてきており、新時代を迎える中、本心に心配でなりません)。  
新時代が到来します。新元号の来年には、新通小学校の分離独立校である「新通つばさ(仮称)」小学校が開校します。しかしそれに伴いまたいろいろな地域課題も出てくると思われませんが、新しい時代の地域課題を、少しでも良い方向に向けて解決していけるよう願っています。  
大きな「輪」の中でそれぞれの自治会が一堂に会し、情報交換や研修を積み重ねながら、大きな活動となつてほしいと思っておりますので、自治会の皆様からも是非、「さかい輪」の仲間として「自分」にできることに向かい、参加すること」を目指していただければと思います。  
各自治会の皆様にとりまして、新しい時代を迎える今年が良き年となりますようお祈り申し上げますとともに、「子供たちやお年寄り」にやさしい、安心安全な地域づくり」に、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。私独り言を添えて年頭のご挨拶いたします。

# 平成30年度 連合自治部全体会議 坂井輪連合自主防災会総会

## ◆ 連合自治部全体会議

坂井輪中学校区まちづくり協議会連合自治部全体会議(総会)は、平成30年5月20日(日)西区役所健康センター1棟3階大会議室において、来賓の西区役所地域課長堀峰一様、地域課主幹宮川美根子様のお二人をお迎えし、連合自治部35名の出席を得て開催しました。

総会は連合自治部梶原部長の開催挨拶に続き、来賓の堀地域課長様からのご祝辞をいただいた後、道上ヶ丘自治会笹川建介会長を議長に選出して議事審議に入りました。

上程された前年度の事業報告及び収支決算報告並びに新年度の事業計画案及び収支予算案の審議が行われ、出席者の拍手を以て承認されました。

また、第5号議案の役員任期満了に伴う役員の改選については、新役員(常任委員)11名及び監査委員2名



が選任され、その中から引き続き梶原部長が再任されました。

★改選により選出された役員は次のとおり(再任を含む)

### ・新常任委員

- |             |       |
|-------------|-------|
| 緑ヶ丘自治会      | 梶原 宜教 |
| 須賀団地自治会     | 山本貴美子 |
| 上坂井自治会      | 橋本 浩一 |
| 新通南自治会      | 小林 勉  |
| 坂井自治会       | 内山 健作 |
| 青葉台自治会      | 竹内 博之 |
| 坂井東3丁目自治会   | 石田 一正 |
| 坂井中団地自治会    | 榎本 岩雄 |
| 輪之内自治会      | 市川 富夫 |
| ウイズプラザ新通自治会 | 船岡 征夫 |
| ラベスト亀貝自治会   | 頓所 和博 |
| ・新監査委員      |       |
| 寺井南自治会      | 倉田 俊男 |
| 上坂井自治会      | 小野 章  |

## ◆ 坂井輪連合自主防災会総会

連合自治部全体会議に引き続き開催した連合自主防災会総会は、規約

により梶原会長が議長席に就いて議事の進行を進め、上程された前年度事業報告及び収支決算並びに新年度の事業計画案及び収支予算案の審議はすべて承認されました。



平成30年度の合同防災訓練は、10月21日「未曾有の大地震発生」の想定のもと、坂井輪中学校を避難所設営本部とし、その他、坂井東小学校、新通小学校も避難所として三会場で同時訓練を行いました。

今年度の参加者は800数十名を数え、年々参加者が増加しており、地域住民の防災意識が高くなっている実感しています。

## ● 各種訓練

自治会単位での個別訓練終了後、各会場に避難後訓練を開始しました。坂井輪中学校会場では、避難所運営及び校舎見学並びに避難所備蓄品見学等を行うとともに、日本赤十字社指導のもとエコノミー症候群予防体操や新聞紙を活用した防災スリッパ作りなどの訓練を行いました。

坂井東小学校会場では、西区防災士の協力により、避難所運営時に

おける様々な模擬訓練を行いました。また、新たに訓練会場となった新通小学校会場では、女性支援隊の指導で各自治会女性避難者を中心としたアルファ米炊き出し訓練や日本赤十字社の協力による避難所運営の指導とその模擬訓練を行っていただきました。

このほか、各会場間の通信手段として無線機による各会場の情報収集と進行状況を確認する訓練も行いました。

坂井輪中学校区内では、2020年4月に新設小学校が開校され、区内での避難所会場は5会場になり益々地域住民の意識向上、地域の連帯、組織作りが重要になります。

また避難所備蓄状況は当日の参加者にお示ししたとおりですが、避難所収容人数、備蓄品数、備蓄箇所等の問題もあり、まだまだ災害への備えは不足している状況であることから、災害に備え、自治会単位、各自宅で最低分の備蓄が必要と思われます。

今後も当防災会としては、各自治会や地域住民協力のもと、いろいろな想定訓練を行っていきたいと思います。

最後になりますが、今回の合同訓練にご協力いただいた西区役所、西消防署、消防団、日本赤十字社、西区防災士会、防災用品展示の(株)コメリ様、そして会場となった各学校の皆様のご協力を深く感謝を申し上げます。



## 東日本大震災 被災地視察研修

平成30年9月7日(金)・8日(土)、二日間に渡り自治会長等の防災意識の啓発を目的に、東日本大震災被災地視察しました。

初日は、閉上震災を伝える会、高野俊信様のガイドで、名取市閉上地区(閉上さいかい市場↓閉上日和山↓東日本大震災名取市慰霊碑↓災害公営住宅)を見学しながら被災体験をお聞きしました。

二日目、道の駅 上品の郷で、小さな命の意味を考える代表、佐藤敏郎様にガイドをお願いしました。女川地区(大川小学校跡↓雄勝↓女川駅周辺↓命の石碑↓南浜つなぐ館)を巡りました。特に大川小学校跡では、時間をかけて当時の避難の様子をお聞きしました。佐藤様自身、次女みずほさん(当

時6年生)を亡くされています。

「どうすれば伝わるんだろう。大川小に緩やかな傾斜の裏山があった事。そこに行けなかった事。命を救えなかった事。全てが事実。山が命を守るわけじゃない。命を救うのは、山を登るといふ判断と行動。そこに向き合いたい。大丈夫だと思っても逃げる。なぜできなかったのか。最優先にしていたのは子どもの命だったのか。」佐藤様の言葉一つ、一つが非常に重く感じました。

また、11月18日(日)に開催した三者合同研修会では、この視察研修内容の動画を見ていただき、防災意識の向上を図ることができました。



## 女性支援隊の 後期事業 について

異常気象による猛暑日や豪雨被害が多かった今年、後期事業として女性支援隊は平成30年11月1日(木)、「新潟県消防署」へ一日研修に行ってきました。

平成27年12月5日から業務が開始された新庁舎の見学及び体験です。参加メンバーは14名、これまで以上に防災意識が向上しました。

最初に、エントランスホールで消防員の方から説明を受け、建物の4階から見学をしながら1階へ下りました。

「消防指令管制センター」では、市内全域の119番通報を受け付け迅速、的確、効率的に消防指令を行っている様子を見学できました。

「鑑識室」では、精密機器を使って焼け焦げた物品から出火原因を特定する装置を見学しました。

「濃霧体験室」では、真っ暗な中、煙が充満する通路で避難を体験してきました。背を低くして口にハンカチをあて「こっちだよー」などと声



を掛け合って、火災現場さながらの避難体験でした。

「消火体験」では、参加者全員で消火器による消火訓練をしてきました。消火器の取り扱い方は案外難しいものでした。

普段間近で見ることのない消防自動車、梯子車、拠点機能形成車の値段は、4千万円、1億円、3億円ほどです。見学・体験を通して、「火の用心」を再認識してきました。





道上ヶ丘自治会は、西大通りと越後線の間に位置し、近くに坂井神社や新通小学校があります。  
世帯数330の住宅街で、高齢者の世帯が増えていく一

### 住みよい地域を目指して

道上ヶ丘自治会会長

笹川 建介



方、新しい住宅が建ち、小さい子供がいる現役世代も増えています。現在の役員は現役世代が多く、限られた時間の中で、メール等を活用しながら、報告事項のやり取りや回覧文書の確認等を行っています。

自治会内には、民生委員や友愛訪問員、通学路の見守りなどボランティア活動に熱心な方や自治会の活動に協力的な人が多くいます。

自治会の年間行事の中で、毎年夏に自治会内の公園で行われるお祭りが最大のイベントです。自治会内外から多くの人が集まり、新通小のジュニアウインドアンサンブルの演奏や新大サークルの演舞、抽選会、ゲームコーナーなどで、子供から大人までみんなで盛り上がります。

自治会内の多くの人から自治会の活動について関心を持つてもらうため、お祭り以外にも様々なイベント（新年会、もちつき大会、敬老祝い会、落語会など）を企画したり、自治会の活動内容や行事予定、お茶の間の活動内容などを紹介した会報を出したりしています。

思っていたような結果が出ず、理想と現実のギャップに悩むことも多いですが、多世代の交流により会員間のつながりが増え、住みよい地域になっていくことを期待し、日々活動しています。



## 受賞おめでとうございます

今後ともますますの発展を期待します  
～平成30度～

### ■ 西区長感謝状

須賀団地自治会 木戸 敏 様  
緑ヶ丘自治会 杉山 茂 様

### ■ 住みよい郷土推進協議会会長表彰状

輪之内自治会 榎本 政和 様  
新田自治会 久住 政彦 様  
坂井中団地自治会 中村 利文 様  
寺尾南新町自治会 中村 嘉禮 様

### ■ 西区社会福祉協議会感謝状

坂井中団地自治会 文化福祉部 様  
南ヶ丘自治会 愛甲 晶子 様  
輪之内自治会 牧野 淳子 様

## あとがき

「災」昨年、今年の漢字に選ばれた一字です。豪雪、豪雨、猛暑、相次ぐ台風の上陸そして大阪、北海道での大地震。一年を通して災害が続きました。「災」の字を見ると小さな人がいるのが解ります。この小さな人を守るべくまちづくり協議会の人々は活動しています。これも一つの大事な役割だと思います。

「命」の重さをあらためて考えながら、活動していこうと思います。今年には災害が無い事を祈りながら。

(事務局)

